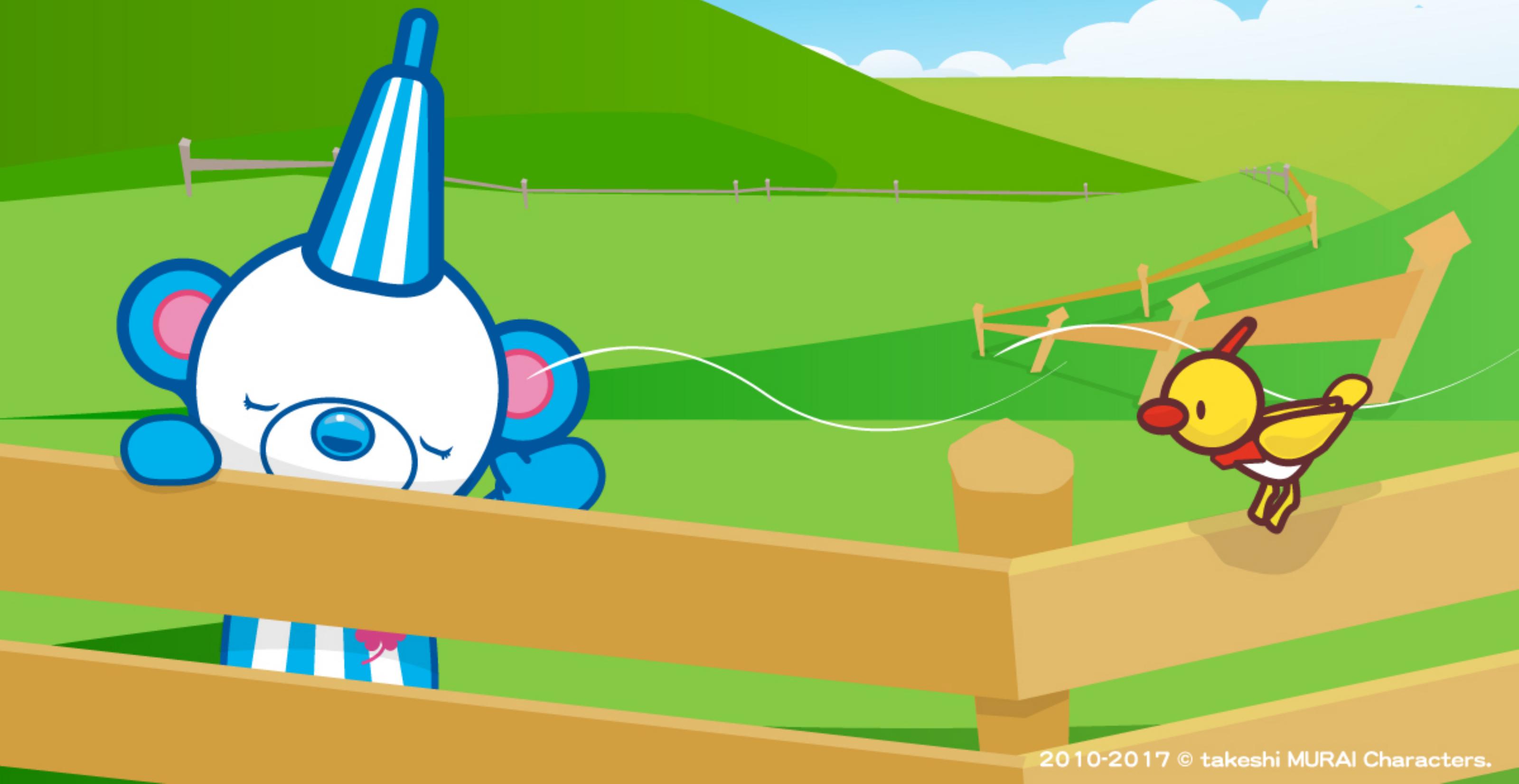


# き 聴こえの森のミミー

もり

企画 / 原案：中石 真一路 原作 / 作画：ムライ タケシ



き もり  
“聴こえの森”は  
かぜ おと かわ おと  
風の音 川の音

そして

どうぶつたちの さえずる声は  
まるで 音楽のように 流れる  
みみ もり  
耳に やさしい森です



こぐまのミミーは この森に  
かぞく す  
家族みんなで 住んでいます

ミミーは  
おじいちゃんが 大好きで  
いつも うしろに くっついていました  
顔を洗う 時も  
食事の 時も  
お風呂の 時も

そう  
朝 「おはよう」から  
夜 「おやすみ」まで



おじいちゃんを 好きな理由は  
ミミーの知らない たくさんのこと。  
教えてくれるからです

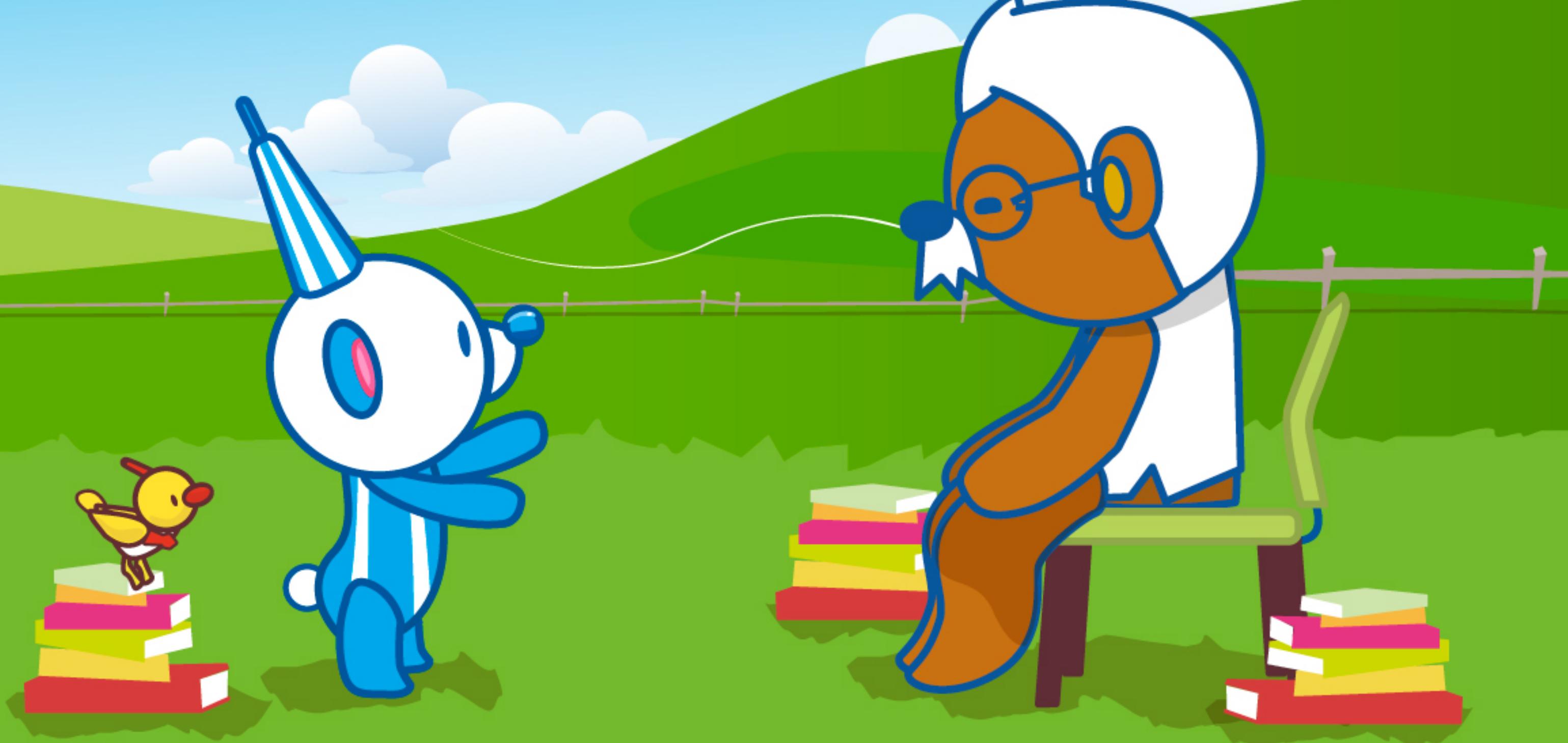
とくに おじいちゃんの 若い頃の  
昔話は 夢中でした

ほんとうに 楽しい  
時間でした

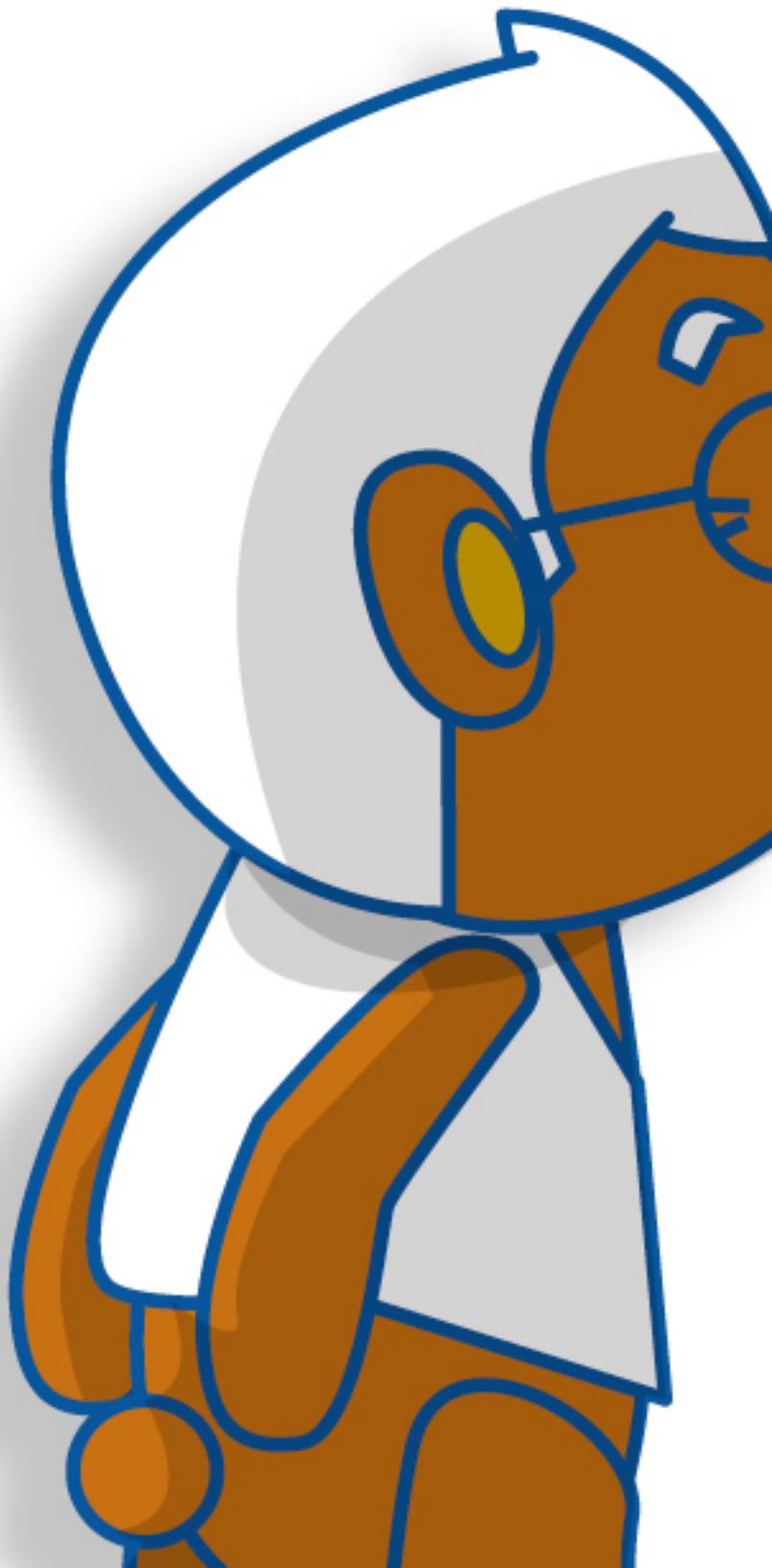
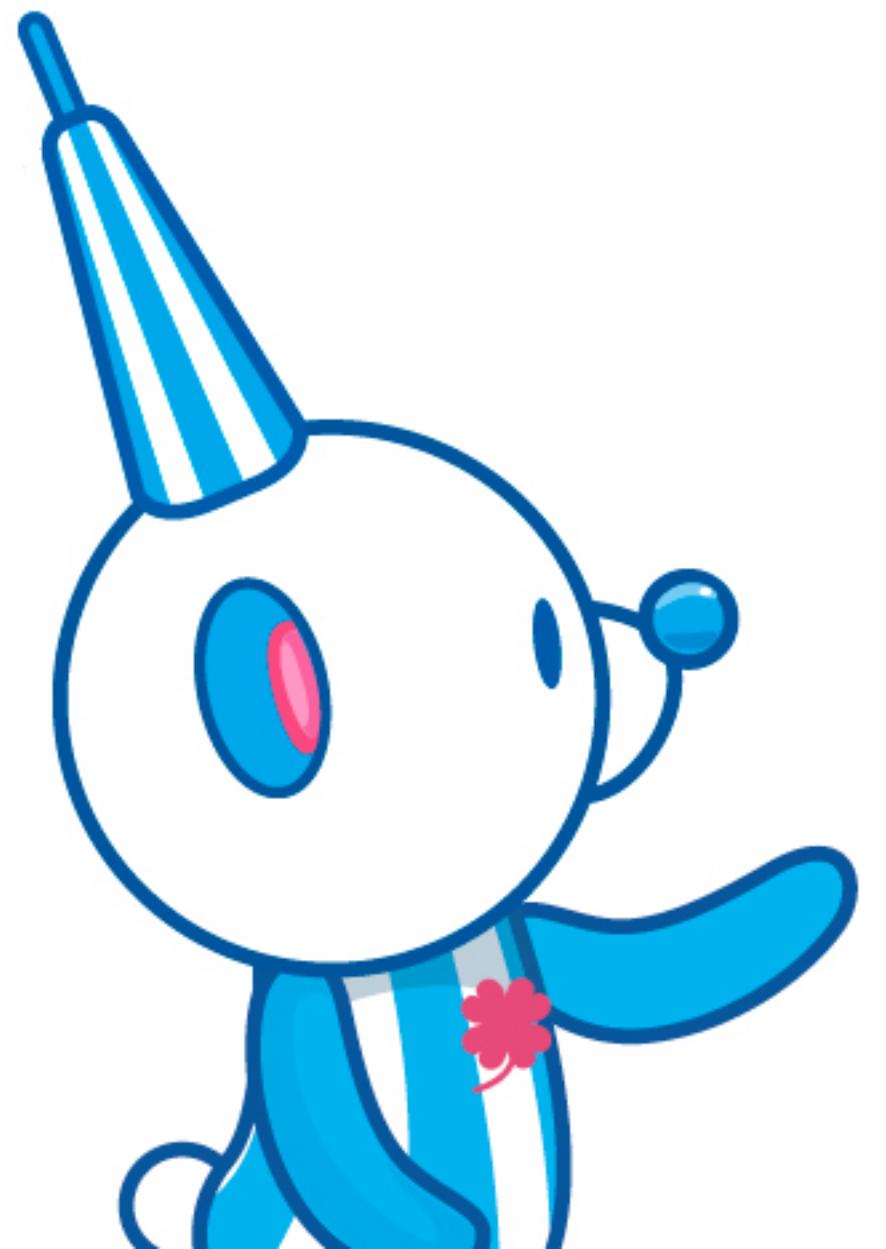


おじいちゃんは  
ミミーの 話しも  
真剣に 聞いてくれました

おじいちゃんにとっても  
ほんとうに 楽しい  
時間でした



しかし いつの日からか  
ミミーが 声をかけても  
おじいちゃんが  
気づかないことが 多くなりました



ひとり  
一人で ぼーっとしている  
じかん  
時間も おお  
多くなって

あのやさしい おじいちゃんの  
そんざい  
存在が  
とお かん  
遠く感じていきました

ミミーは おじいちゃんが  
じぶん  
自分のことを きら  
嫌いになって  
しまったと おも  
思いました



そんな時 おばあちゃんが  
おじいちゃんの  
耳が 悪くなっていることを  
おしえて くれました

どうして 悪くなってしまったのかも  
きちんと 説明をしてくれました

ミミーは びっくりしました

そして



おじいちゃんが  
ミミーのことを 嫌いになつていなかつたことが  
わかつて ホッと しました



どうしたら おじいちゃんに  
自分の声を  
とどけることができるか

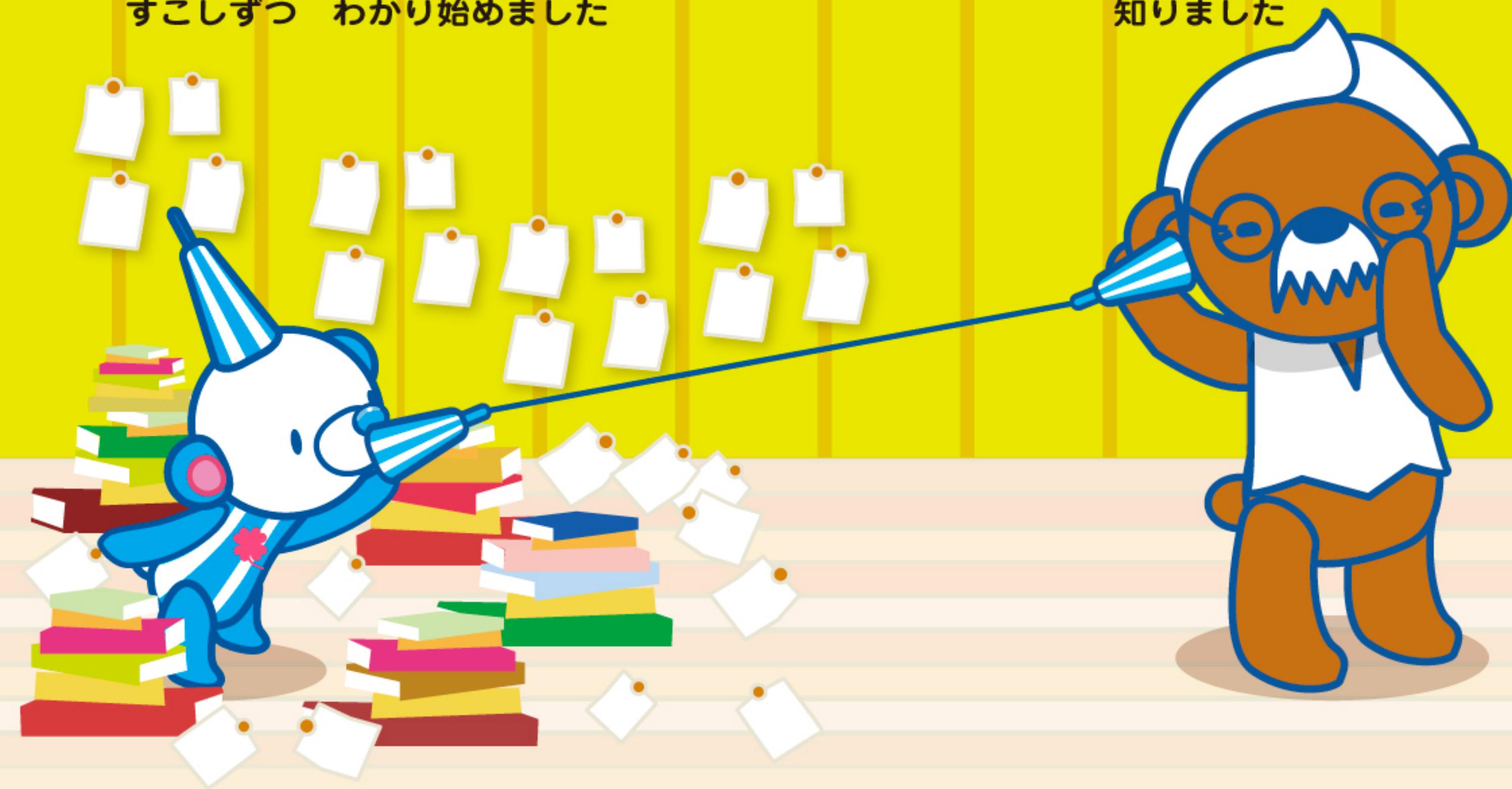
また 一緒に 仲良く  
お話が できるようになるのか

ミミーは  
もっと 知りたくなりました



ミミーは  
一生懸命 調べました  
すると いろいろなことが  
すこしづつ わかり始めました

そして おじちゃんのよう  
に  
き 聴こえの不自由な人が  
ふじゆう ひと  
たくさん いることも  
し 知りました





そうだ！

ぼくに できることは  
たくさんの人々に “聴こえ”について  
もっと 知つてもらう  
お手伝をすることなんだね

ミミーは 声と音のバリアフリーをめざす  
NPO 法人日本バーサル・サウンドデザイン協会の  
プロジェクトを 応援しています。



NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会

おしまい



ミミー・スカイリーは子ぐまの男の子。  
NPO の活動の応援や着ぐるみイベントも出来る  
人気のキャラクターです。

2010-2017 © takeshi MURAI Characters.



# き もり 聴こえの森のミミー

2014年3月3日 完成初版第一刷発行

企画 / 原案：中石真一路

原案 / 作画：ムライ タケシ

URL / [www.u-s-d.jp](http://www.u-s-d.jp)

©takeshi MURAI ,2012 Printed in Japan.  
2010-2017 © takeshi MURAI Characters.

## Takeshi Murai

Born in Tokyo, Japan in 1972, **Takeshi Murai** graduated from the faculty of Fine Arts of Bunka Gakuin, after which he began to work as an advertising illustrator.

His first children's book, **Bubble on Bubool** was published in 2006.



JUSDA  
出版  
Japan Society for Design Education Association  
Green Room Limited